



通電火災対策

～地震・風水害による停電からの復旧時に注意～

電気が復旧したときが
火災の危険！



通電火災とは？

停電後、停電が復旧した際の
再通電時に発生が懸念される火災です。

停電 → 電気復旧 → 再通電 → 発熱・ショート → 出火

⚠ 避難後、無人の住宅で発生する危険もあります。

地震による通電火災

地震後は「電気 × 可燃物」に注意！



1 配線の損傷

- 家具の転倒などで配線が損傷
- 再通電により発熱・発火



2 ヒーター・照明器具

- 転倒したヒーター等が可燃物に接触
- 再通電して着火



3 観賞魚用ヒーター

- 水槽の転倒でヒーターが露出
- 再通電して周囲の可燃物に着火



4 ガスへの引火・爆発

- 再通電時の電氣的火花
- 漏れたガスに引火・爆発

風水害による通電火災

水害・浸水後も要注意！



浸水・雨漏り



電化製品・配線・基板が損傷



電気復旧



ショート・トラッキング



発火

⚠ 「乾いたから大丈夫」と自己判断しない！

日頃からできる対策

感震ブレーカーを設置



地震の揺れを感知して
電気を自動遮断します。

住宅用分電盤の機能を充実



漏電ブレーカー

漏電を検知し
電気の供給を遮断する機器

コード短絡保護機能

配線の損傷や短絡を検出し
電気を自動で遮断する機能

2 停電時・避難時の対応

停電したら



電化製品の
スイッチを切る



電源プラグを
コンセントから抜く

自宅を離れるときは



ブレーカーを落とす



※玄関ドアに表示しておく。
(平時から家族で確認)

電気復旧時の対応

すぐに電化製品を使わない！

まず「安全確認」

- ✓ 浸水・水濡れていないか
- ✓ 電化製品が破損していないか
- ✓ 配線・コードが損傷していないか
- ✓ コンセントに異常がないか
- ✓ 燃えやすいものが近くにないか

確認してから
使用！



！ 異常を感じたら

外見上の損傷がなくても、壁内の配線や
電化製品内部が損傷していることがあります。
再通電後、時間が経ってから出火することもある。

- ① 直ちにブレーカーを落とす
- ② 電化製品には触れない
- ③ 消防機関へ連絡する



✗ 水に濡れた電化製品は使用しない！



「乾いたから使える」は危険です。
内部の部品や絶縁部分が損傷している可能性があります。

- ✗ 使用しない
- ✗ コンセントに差し込まない
- ✗ 自己判断で通電させない

専門業者等に相談しましょう。

通電火災を防ぐには、正しい知識と日頃の備えが大切です。

一人ひとりの行動が、あなたの家と地域を守ります。／